

オ オ バ コ

私たちは小さいころからオオバコをギャロッパと呼んでいました。カエルの葉ということだったのでしょうか。

1. 我が家の雑草

先月は地下茎のある雑草を取り上げてきましたが今月も今わが家の畑に生えている野菜の栽培にじゃまになるわけではないのですが畑の雑草をあげていきます。畑のふちによく生える「オオバコ」を取りあげました。オオバコの花が咲き始めました。オオバコが花が咲くと白いおしべの花粉袋がめだちます。

オオバコは畑に生えているといってもなぜか、作物を栽培しているところにはあまり生えないのです。畑のあぜみちにびっしりとならんで生えているのです。気にしなければあぜ道ですからいくら雑草がはえても作物の成長にはならないのですが百姓永澤としてははずかしいことなのです。

雑草とは広辞苑によると

- 1) 自然に生えるいろいろな草 2) 農耕地で目的の栽培植物以外に生える草
私は2)の意味で雑草をつかっています。

畑のおもな雑草 春から夏にかけて

スギナ イタドリ カヤツリグサ 西洋タンポポ ハルノゲシ ニガナ
ジシバリ ヒメジョオン ハルジオン セリ ハハコグサ ハコベ
シロツメグサ アカツメグサ オランダミミナグサ タネツケバナ
オオイヌノフグリ ヒメオドリコソウ カラスノエンドウ ノビル
スズメノエンドウ キュウリグサ タチツボスミリ ドク d ファミ セリ
すずめのカタバira チガヤ カラスムギ ヨブシュヤマゴボウ

2. オオバコは永澤さんの家来です。

オオバコは畑の作物を作っているところにはあまり生えていないのです。私が作業をするために歩き回っている所に一面に並んで生えているのです。畑の耕作者である永澤さんが歩くところにオオバコが生えるのです。なぜ。オオバコの種が永澤さんの長くつにくつつくからなのです。種のさきの毛がくつきやすくなっている私が歩いたところにオオバコの種が落ちて発芽するのです。バカといっている着物につく種子もいっぱいあります。永澤さんが歩くところに落ちたたねは成長してオオバコの大きい株になってあぜ道にすきまなく生えています。葉は大きくひろがっています。ほかの雑草の生える隙間をなくしているのです。

シロツメグサもそうですね、シロツメグサもひと株いっかしよにいきつくと年々増えて10年もするとシロツメグサのじゅうたんが広くできあがります。

なぜ、オオバコやシロツメグサのくきが高くのびなくても生きていけるのでしょうか。オオバコやシロツメグサは地面にすきまなくはえています。背が低くてもす

きまなく生えているのでほかの茎の高い雑草がはいりこむ隙間がないのです。自分の領地をしっかりとももっているのです。

牧野の新日本所器物図鑑から

東アジア各地の校地から平野まで、ごく普通に見られる多年生の雑草。葉は部（茎）から多数混成する。葉身は楕円形か卵形で、数じょうのやや平行な脈あり、成長のよい個体ではふちは波うち、基部には浅い不規則な斬り込みがる。葉柄は葉身と同長かそれより長く、断面はほとんど半月型で内側を囲むむ形になっている。

春から秋にかけて10から20cmの蜜に白花の咲く花茎を出す、単穂状花序ある。がく片は4個あり逆さ卵円形、下に鱗片状の包み葉が1個ある。花冠は斗状で先端は4つにわかれる。雄しべは鱗片と交互に並んで花筒に付き、花冠より長く飛び出してよく目立つ。子房上位、雌しべ、1個、さく果はがくのがく2倍長く楕円形、熟したものに触れると横の線のところから、上の部分が簡単はずれ、中には少数の黒褐色のタネがはいっている。これが薬用の車舞子である。オオバコの葉は食料になる。

日本名 オオバコ 大葉子

漢名 車前 広い葉にちなんでつけられた。

3. オオバコで理科の勉強

雑草オオバコには私たちに自然の勉強になるものを多く持っています。

オオバコを見せてこれがオオバコです。これからオオバコで理科の勉強をします。

1) オオバコ 探し

校庭のすみずみまで校地内を歩きまわりオオバコを探します。先生が先ず探しておいたほうが早いかもしれません。

校地の地図をオオバコ地図にしましょう。

2) オオバコを掘り取ります。

オオバコを掘るにはスコップが必要です。

掘り取るオオバコの株を中心に30cm四方の四角形を書きます。ひと株しっかり掘取るためです。その線にそってスコップを深く差し込みます。一本の根まで全部掘り取りたいのです。

低学年ではこの作業は無理です。小さいスコップもあります。

スコップを真下に一気に差し込みます。4か四方に差し込みます。その一カ所は深く株の底の方にまで横にスコップを差し込みます。オオバコの株を掘り上げます。

このときに根はなるべく切れないようにしましょう。

3) 土を落としオオバコだけにします。

掘り上げたオオバコを水道の水流し静かに洗います。

土を流しおろすように静かに流して根だけにします。
バケツに水をくんでオオバコの根をあらってもいいでしょう。

オオバコの観察

オオバコの 葉は何枚かな 葉の形は すじは 小さな葉も
オオバコの 茎はあるだろうか。 茎はどこかな
根はどこについていて、どう伸びているかな

4) オオバコの植木鉢をつくる。 教室にかざしておく。

オオバコを植木鉢に植えます。

教室に持って行きオオバコを長い期間観できます。

株の真ん中に小さい葉が生えているでしょうか

花が咲くときには小さい棒が出てきます。その棒に花がつきます。

花のあとにタネができます。

実験 1 花筒に白い雄しべがいっぱいつき始めたならば、

花を花筒を棒でしずかにたたきます。

雄しべから白い花粉が白いもやのようにたちあげります。

観察 花が熟してきたら種をとってかんさつします。

種のさきにとげがついています。ルーペで観察しましょう。

5) オオバコに茎はあるでしょうか。葉は茎についています。

株から葉をもぎ取ってオオバコの茎があるか観察しよう、

オオバコの株をひと株用意します。

きれいに洗っておきます。

左手にオオバコの株を持って

右手にオオバコの大きい葉を1枚持ちます。

葉柄が切れないように葉をひっぱります。

オオバコの葉をオオバコの株から引き離すのです。

1枚1枚丁寧に引き離していきます。

全部の葉を株から引き離します。

はだかになった円筒形の白い筒がのこります。

残った円筒形のものがオオバコの茎です。

引っ張った葉に細いすじがのこります、

このすじは水や栄養を運ぶくたです。

多くの野の植物の茎はすごく長くのびています、

永澤さんの畑のヒマワリはの茎は2メートルものびます。

アカザは1メートルのびます。

オオバコの茎は5ミリから1センチの長さです。

オオバコの茎は うんと 短い。

質問 オオバコの茎が短いとオオバコはどんないいことがあるかな。

児童 オオバコの上を大きい動物が歩いてもオオバコの茎はおれにくい、
風がふいてもオオバコの茎は折れない。

質問 葉をむしりとったオオバコの茎にさわってみましょう。

児童 すごく固い 白い つるつるしている

質問 オオバコの茎が固いのは、オオバコの生活にとってどんないいことがあ
りますか、

児童 オオバコにく気が固いからなかなかおれにくい
オオバコの茎は固いからつぶれない。

6) オオバコの根

質問 掘取ったオオバコの根をきれいに水道の水であらいましょう。
ひと株のオオバコに何本の根が生えているかな。大体

児童 500本 100本

質問 オオバコの根を見てどんなことがわかるかな。 オオバコの根は

児童 オオバコの根はいっぱいある。
オオバコの根は茎に多くついている。
オオバコの根は茎から出ている。
オオバコの根はあまり長くない。
オオバコの根は細くてもしゃもしゃしている。
オオバコの根は茎の下にひろがっている。

質問 オオバコの根がいっぱいもじゃもじゃしているとオオバコが生きて
いくためにどんないいことがあるかな。

児童 オオバコが生きていくためには水が必要だからオオバコは茎の
下の水をあつめるのにつごうがいい。

オオバコは水が必要だから根がいっぱいあると水を体にすいと
るのに敏利だ。

オオバコは根がいっぱいあるからオオバコの茎の周りの水分を
みな集めてしまう。

オオバコは根がたくさんあるから土の水分が少なくとも水を
集めることができる。

オオバコの根は自分の株の周りの水分を集めるのに都合
がいい仕組みになっている

時間があったらやってみよう

タンポポの根をほってみようオオバコのように短いかな。

タンポポの根はすごく長い。タンポポは根が長いからどこの水をあつ
集めるのに便利だろうか。